



新生

ニュースレター

追悼号

人生ピンチヒッター友の会

2024 冬

『人生ピンチヒッター』3か条 1. 『人に接する呼吸を得ている者』 2. 『性格の悪くない者』 3. 『無規則で始める勇気と胆力を』

『山本ひろみ様』 と 『大弥佳寿子様』 で



『天国で がん哲学外来・カフェ』



樋野 興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長)

【『岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ桜』を2019年7月開設された山本ひろみ様(2023年10月18日)】と【東村山がん哲学外来メディカルカフェを2014年8月開設された大弥佳寿子様(2023年11月28日)】がこの度ご逝去された。涙無くして語れない。

『樋野動物園』では、山本ひろみ様は『かえる』で、大弥佳寿子様は『羊』である。ユーモアに溢れる人物であった。

お二人とも【『情熱、熱意、真摯な態度』&『無邪気に喜んで、小さなことに、大きな愛を込める』&『役割意識と使命感』】の実践者であった。また、『器量の持ち主』でもあった。『器量』といえば、『挑太郎』を思い出す。鬼ヶ島遠征の物語は、子供時代、村のお寺の紙芝居でよく聞かされたものである。『挑太郎』は『犬・雉・猿』という性質の違った(世にいう犬猿の仲)伴をまとめあげた。世に処する人は『性質の異なった者を容れるだけの雅量』をもたなければならないと新渡戸稲造(1862-1933)は『世渡りの道』(1912年)で述べている。本当に素晴らしいお二人であった。

【『山本ひろみ様』 と 『大弥佳寿子様』】の5ヶ条

- 1) 『他人の感情を尊敬することから生じる謙遜・慇懃の心』
- 2) 『濃やかな配慮の人』
- 3) 『欣然たる面貌、快然たる微笑』
- 4) 『正論より配慮の実践』
- 5) 『個性と多様性の提示』



いつかお会いする日まで

森 尚子 目白がん哲学外来カフェ

一緒にニュースレターを作っていた、山本ひろみさんと大弥佳寿子さんが、「天国のがん哲学外来」に参加されることになりました。小さなことに大きな愛を無邪気にこめられている姿が、目に浮かびます。

いつか、私もそちらのカフェに参加する時に、「よく頑張りましたね。」と、笑顔で迎えてもらえるよう、生きていきます。



●開設当初の樋野動物園

★「巣鴨カフェ」は西原光治さんに、「東村山カフェ」は阿部友香さんが代表を引き継がれました。今まで通り皆様のご参加をお待ちしています。

\* \* \* \*

編集:丘の上のカフェ・シャローム

石井 瑠美

連絡先: 03-3943-1879

後援:一般社団法人がん哲学外来

